

全4回

環境省ローカルSDGs 地域循環共生圏 セミナー

2024

学びと実践の場を通じて、持続可能な地域づくりを前進させるための実践力を高めます

オンライン開催

参加費無料

定員

各回 **50名** (講演編は定員なし)

対象

自治体、民間団体・企業をはじめとした、地方創生、SDGs、脱炭素などの地域づくりに関わる仕事・活動を行っている方

セミナーを通して学べること

- ▶ 持続可能な地域づくりの進め方
- ▶ 官民連携をはじめとした、地域づくりの仲間とのつながり方
- ▶ 地域のありたい未来の描き方
- ▶ 地域のありたい未来を実現する、地域課題の同時解決事業の生み出し方

地域でローカルSDGsや地方創生に取り組むにあたり、その活動を前進させるようなヒントやきっかけを得て、「具体的な動き出しのイメージ」を持つことができます。

講演編

地域で活躍するリーダーから実践経験を学ぶ

実践演習編

自身の地域について考えるワークを通して、知識・ノウハウを身に着ける

プログラム

第1回 ありたい地域のすがたに近づくために！！
～地域づくりをリードするとは～

10月28日(月) 13:30～16:30

第2回 思いを形にするための、共感してくれる仲間の探し方

11月29日(金) 13:30～16:30

第3回 地域の未来を描き、行動するための「地域ビジョン」と「マンダラ」

12月20日(金) 13:30～16:30

第4回 地域課題を解決し続ける地域が取り組んでいることは～「ローカルSDGs事業」について～

2025年1月24日(金) 13:30～16:30

全体ファシリテーター

地域循環共生圏プラットフォームコーディネーター

高橋 真寿美 さん

人事コンサルティング会社に新卒入社、大手企業向け人材開発やコンサルティングに従事。その後、経済産業省に出向。地域創業の促進やベンチャー支援政策に携わる。現在はスタートアップに勤務しながら、個人として省庁や自治体・NPO法人などの事業支援を行う。平成31年度より本事業のコーディネーターを務める。



■ファシリテーターから参加者へメッセージ

他地域の実践経験から学びを得て(講演編)そのエッセンスを自地域に落とし込む(実践演習編)4つのプログラムです。環境・社会・経済の観点で、地域をよりよくしたいと考えるみなさんのご参加を、お待ちしております！

申込方法

お申込みはこちらから

<https://www.erca.go.jp/jfge/news/form/chiikijyunkankyoseiken-seminar2024/input.html>

申込締切

各開催日の2営業日前まで

【第1回:10/24(木)、第2回:11/27(水)、第3回:12/18(水)、第4回:1/22(水)】

問い合わせ先

地域循環共生圏フォーラム 2024 事務局

✉ local_sdgs@erca.go.jp



第1回 10月28日(月) ありたい地域のすがたに近づくために！！～地域づくりをリードするとは～

講演編 13:30～14:30

鹿島市役所 政策総務部ゼロカーボン推進室 室長補佐兼 広報企画課 課長補佐 **江島 美央氏**

1974年長崎市生まれ。熊本大学文学部史学科卒。
2003年に佐賀県鹿島市役所へ入庁、2016年にラムサール条約推進室に配属され、環境省「地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業」に取り組む。2015年に有明海の干潟の一部がラムサール条約湿地に登録されたのをきっかけに、「プラットフォーム事業」に申請・採択。環境と産業の調和を目指す取り組みを始め、地域の環境・社会・経済の課題を同時に解決するローカルSDGs事業創出プラットフォーム「鹿島モデル」を構築した。
2024年ゼロカーボン推進室、広報企画課に異動。脱炭素とSDGsの担当となる。



講師

実践演習編 14:40～16:30

- 地域循環共生圏づくりの全体像(アクションサイクル)や、地域をリードする役割のポイントをつかむ
- 自身が地域をリードする際の動機や強みを考える

※グループワークを予定しています

Point
持続可能な地域をつくるには、地域の関係者をつなぎ、課題解決の事業を生み出すためのしかけをつくる人々の存在が必要不可欠です。このテーマでは持続可能な地域(地域循環共生圏)づくりの全体像と、それをリードする人々の役割を学びます。

第2回 11月29日(金) 思いを形にするための、共感してくれる仲間の探し方

講演編 13:30～14:30

株式会社イマゴト 代表取締役 **秋田 大介氏**

2002年度～2022年度末まで神戸市職員(専門はまちづくり・都市計画と環境・エネルギー)
神戸市職員時代に副業でNPO法人須磨ユニバーサルビーチプロジェクトや一般社団法人アスミー、Kobe Mural Art Projectなどを立ち上げ様々な社会課題の解決に向けて活動を行っている。
2022年度末に神戸市を退職後に株式会社イマゴトを立ち上げ、現在は行政と民間企業の間に入って社会課題を解決するための連携コーディネートをを行っている。脱炭素まちづくりアドバイザー(環境省)、地域力創造アドバイザー(総務省)、地域活性化伝道師(内閣府)。



講師

実践演習編 14:40～16:30

- 地域循環共生圏づくりで大切にしている仲間集めの基本的な考え方を知る
- 自地域のステークホルダーリストを作成し、アプローチ方法を考える

※グループワークを予定しています

Point
地域づくりを行うには、官・民を超えた多様な方々との協力・協働が必要不可欠です。
たくさんの方と一緒に地域を動かしていくために、みんなの「こんな地域にしたい!」を引き出し、地域のために活動する仲間を増やす方法や、各主体の地域づくりへの多様な関わり方を紐解きます。

第3回 12月20日(金) 地域の未来を描き、行動するための「地域ビジョン」と「マンダラ」

講演編 13:30～14:30

八女が好き8C(やし)! やめスマ研究所 所長 **宮崎 悠輔氏**

1991年佐賀県武雄市生まれ。
大学卒業後は大手通信会社に従事し、2018年株式会社アズマへの転職をきっかけに八女へ移住。
令和4年度より環境省が行う、「地域循環共生圏づくりプラットフォーム構築事業」への採択をきっかけにやめスマ研究所を立ち上げ、地域での対話の場づくりを行うため地域内でワークショップやMTG及びイベントの企画、開催を行う。



講師

実践演習編 14:40～16:30

- 「地域ビジョン」とは何か/「地域ビジョン」と「マンダラ」の基本的な考え方を知る
- 自地域の「地域ビジョン」のタネを考える/「地域ビジョン」づくりに向けたアクションを考える

※グループワークを予定しています

Point
みんなで地域を見つめなおし、地域のありたい姿(地域ビジョン)を共有して取組を進めることは地域づくりにおいて重要です。
このテーマでは、プロセスに必要な「地域ビジョン」や、地域資源、課題、地域ビジョンの相互関係をまとめた「マンダラ」を作成する方法を学びます。

第4回 2025年 1月24日(金) 地域課題を解決し続ける地域が取り組んでいることとは～「ローカルSDGs事業」について～

講演編 13:30～14:30

徳之島世界自然遺産推進協議会事務局 天城町役場 企画財政課 主任 **吉野 琢哉氏**

鹿児島県の離島徳之島・天城町出身。
大学を卒業後、民間企業を経て2014年より環境省徳之島自然保護官事務所のアクティブレンジャーとして勤務。2017年4月天城町役場入庁。企画課にて世界自然遺産登録などの業務を担当。2020年4月より2年間、環境省沖縄奄美自然環境事務所に出向。2022年4月に天城町役場企画財政課に配属となり、世界自然遺産や脱炭素関連業務を担当。



講師

実践演習編 14:40～16:30

- 事業主体の探し方を知る/事業の生み出し方を知る
- 第3回で作成した「マンダラ」を見て地域循環共生圏の中核である、環境・社会・経済の同時解決事業を考える練習をする

※グループワークを予定しています

Point
地域ビジョンの実現に向けて、地域課題を自立的に解決している地域では、地域の資源を活用し、環境・社会・経済に良い事業を生み出しています。
第3回でその作成方法を学んだ「地域ビジョン」と「マンダラ」を活用して、環境・社会・経済に良い事業のタネを考え出すための方法を学びます。